

2014年度 Jゼミ論文

ぼかし表現
「みたいな。」と「って感じ」の分析

13687003

ディクエレナルカ

群馬大学社会情報学部

1.はじめに

ぼかし表現は日本語の特徴であり、日本人がよく使う表現だと思う。このテーマを選んだ理由は日本に来てから、非常によく耳にした言葉だが、授業では勉強しないため、疑問に思い、興味を持ち始めたからだ。

ぼかし表現は様々な種類があって、その中に、文末におけるぼかし表現と文中に現れるぼかし表現もある。文末におけるぼかし表現は「みたいな。」、「って感じ」、「じゃないですか」、「かな」、「かもしれない」、「的な」である。文の中に使われるぼかし表現は「とか」、「の方」、「的に」である。ぼかし表現の中で本論文では、「みたいな。」と「って感じ」を中心に、分析と観察をしたいと思う。

本論文の目的として、「みたいな。」と「って感じ」の主な使い方、そして、それ以外の使い方を語用論的に明らかにしたいと思う。

本論文の以下の構成は次のようになっている。

第2章では先行研究について述べる。

第3章では「みたいな。」と「って感じ」の分析を行う。

第4章では相違点と共通点について述べる。

最後に、第5章では、分析の結論について述べる。

2. 先行研究

まず、ぼかし表現の定義は中山(1989)によると、物事を断定しない曖昧な言い方をする一連の表現である。それは、自分の意見や発言が相手にストレートにぶつかることを避けるための表現である。

メイナード(2009)によれば、「みたいな。」はもともと若者言葉とされていたが、現在では、世代に関わらず、一般的に話し言葉に使われることがある。また、前田(2004)によると、文末の「みたいな。」は現代の若者言葉の一つとも言われるが、最初に現れるのは1993年だ。今日ではやや古い若者言葉との意見もあるが、使用層が広がっているようでもありと述べている。

「みたいな。」の機能についてメイナード(2009)は「みたいな。」の前に引用した発言内容と話し手が同じ気持ちを持っているという。話し手の本音はその引用した部分にあるが、必ずしも、百パーセント同じではないというニュアンスも同時に表していると述べている。また、「みたいな。」という表現には、話し手と同時に、引用した発言を実際にした人の声も聞こえてくるという特徴がある。そこには自分の声でありながら、他人の声のようであるという二重の話が聞こえるという。

佐竹(1997)によると、「みたいな。」は解説をする役割を果たしている。自分の気持ちを直接的に表現するのではなく、第三者の立場から客観的に述べている形式になっている。自分が十分に判断できることがらであるのに、それを他人による推量の形を借りて、表現しているととらえられるとする。

さらに、佐竹(1995)によれば、文末に曖昧な表現「みたいな。」をつける、自分自身の表現としては、それが全てではない気もする。また、印象が悪くなかったとき、発言が言い切って相手を傷つけることにもなる。それを避けるのにぼかし表現は役に立つと言われている。これらの用法が使われる原因として、自分の意見、発言の自信のなさがあり、発言、意見の不安さ、不十分さが明白になることへの恐れや、聞き手と一緒にではないことに対する不安が使用

の動機となっている。そして、自分の意見発言の正当性、妥当性を示すことが目的であり、その意見、発言が強すぎて聞き手に反発されることが生じないように、断定するのを避けるのである。このように、若者言葉の言語戦略は「協調性を示すように見えるが実際は、発言のミスや不十分さを指摘されることの回避とも取られている、と佐竹（1995）は指摘する。そうした、若者たちの不安や恐れに対する方策は断定回避、ぼかし表現を使って、自分の発言を和らげるものである。従って、ぼかし表現の効果は和らげるというソフト化といえる。佐竹（1995）によると、ソフト化は事実そのものについて述べていながら、断定回避表現、ぼかし表現を使って、ところどころクッションをつけるものなのである。

3. 「みたいな。」と「って感じの分析

3.1 分析方法

分析に入る前に、分析方法について述べたい。本研究の分析方法は「知恵袋」と「Ameba」というインターネットサイトから 52 の用例（「って感じ」26 例「みたいな。」26 例）を収集して、観察し記述をした。

3.2 「みたいな。」の分析

3.2.1 「みたいな。」のぼかし機能

「みたいな。」の主な使い方はぼかすことである。それは、先行研究で述べられているとおり、厳しいこととか、言いすぎたと思うとき、相手に強いインパクトを与えないように、「みたいな。」をつけると、自分の意見をぼかすと言う機能がある。このような用法は発言をソフト化する。

(1) 「将来、オリンピック出場を目指しているとか、体育会系の職業に就きた ーとか、大学も体育系へ進みたい□・・・とか、目標があるのなら先へ繋がるであろう道かと思うのですが、***（子供の名前）は今のところ大学へ進学するにしても陸上はやらず、人に教える立場(保育士か体育の教師)になりたいらしい・・・

今のところだけどね

なので、勉強もやって欲しいのよ。

部活ばかりでなくね。

最近、部活&LINE または Twitter ばかりでイライラしちゃう。

宿題は出る時は、沢山で疲れながらもやっていますが、家庭学習が出来てない□

何時間もやれとは言わないけれど、少しはやりなよ・・・携帯ばかりいじってないでさあみたいな。

最近、本当色々な意識が足りないので注意したよ□

なんだか疲れたー」

(<http://ameblo.jp/eighter0224s/entry-11896284731.html>)

(2) 「映像も話もぶっ飛び過ぎてて何の意味も伝わって来ない。え、もしやこの映画自体意味ないのか...!? 何かピカソの絵を見た時と同じ気持ちなんだが。こ、これが芸術.....?? みたいな。要するにわたくしのよう一般感覚じゃ無理って事だ! 諦めな!」

(<http://ameblo.jp/gadww/entry-11898337466.html>)

これらの(1)(2)の用例から見ると、相手への厳しい言葉、愚痴というように表す。しかし、「みたいな。」をつけると、自分の意見は直接でなく、ぼかすことで、ソフト化が出ると明らかになる。

3.2.2 「みたいな。」の客観化機能

佐竹(1997)でも述べられているように、このような例は自分に対しての発言なのに、推量の形を借りて、他人のことにする客観化がされている。このような機能は解説をつけたり「ひとごと」のようにいったりする効果があるとも捉えられる。

(3) 「最近、面白いことはありません。なんていうか、心から笑ってないな—みたいな。やるべきことに追われすぎて忙しいせいなのか、前だったら「面白い！」と思え、笑えたようなテレビでも全然笑えなくなってきましたわ。」

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1339623163)

(4) 家を出ようとしたら土砂降りの雨が降り、学校に着いた途端止む。みたいな。どうも。ツイてない系女子、私です。心折れてます。ポキン。」


(<http://ameblo.jp/cherryblossom-1933/entry-11896206444.html>)

(5) 「またモヤモヤがぶり返し...

一歩進んだと思ったら

また下がる、みたいな。

ここで諦めたらだめ！


がんばるぞ！

(<http://ameblo.jp/fairy3040/entry-11898326029.html>)

(3)~(5)のような用例は自分自身に向ける言葉、自分の気分について、「みたいな。」をつけている。それは状況の解説ともとらえるが、最も正しい解釈は推量の形で、他人の声を借りて表現している。自分に関することを自分として直接的にとらえることをしないのは客観化が求められると言えるだろう。

3.2.3 「みたいな。」の臨場感の機能

「臨場感」と言う機能は演技のような感覚を表す。直接話法で引用すると、その場にいるような感じがする。解説、ひとごと表現とも似ているが、直接話法はここでもっとはっきりしていて、臨場感を強く表す。

(6) 「って真面目に思いよったのに、帰りのエレベーターでドア開けとくつもりが閉まるボタン連打してさっそく事故要因を発生させてしまうという失態

後から乗ってきよった人の体にガシャンってなって焦ってさらに連打してもたしな。『閉まる』を。

めっちゃ言い訳やけど昔からなんでか苦手で若干パニックるんですよ、あの開く閉まるのボタン。

どっち？どっち!!□みたいなの。」

(<http://ameblo.jp/ajuco/entry-11896290350.html>)

(7) 「荷物をカゴに入れて、段差の所を通った。

そしたら、ドーンと振動がきて

同時に

カゴの1番上に入った卵もドーンと飛んだ。

卵が地面に着くまで見続けて

時間が遅く感じた。

た... ま... ごおー.....。

みたいなの。」

(<http://ameblo.jp/uyktm/entry-11897810579.html>)

(8) 「ごはんのときに「はい、おまたせー、〇〇だよーどうぞー」って目の前に置くと「おかあさん、ありがとう」とか！！そうゆうの自らサラッと言っちゃうの！

なんて良い子に育ったのー！！ままだ感動♡みたいなの。←もうママって呼ばれてないけどさ...」

(<http://ameblo.jp/hachidori-naoko/entry-11896776004.html>)

この(6)～(8)の用例の「みたいなの。」の使い方は状況を解説するより、場の雰囲気や想像できるような機能があると分かる。それに加えて、この用法で会話を盛り上げ、楽しくするような機能もあると言える。直接話法の使い方や演出することが出来るような感じがするだろう。

3.3 「って感じ」の分析

3.3.1 「って感じ」のぼかし機能

「って感じ」の主な機能や効果は「みたいなの。」と同じく、言いすぎた事、言い切った事、厳しいコメントをぼかして、ソフト化がされている。用例を見ると、「って感じ」のぼかし機能が明らかになるだろう。

(9) 「合唱コンクールってなんなんですか？

合唱コンクールが嫌で嫌でたまりません。

緊張して声が出ないのに無理やり歌わされて声のでてないと一人ずつ声だしやらされます。だいたい歌えって言うやつは普段からうるさい人でちょっとはこっちの気持ちも考えてくれって感じですよ」

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1122786201)

(10) 「ユニバーサルスタジオってそんなに面白いですか？2度行ったことがあります、申し訳ないけど、もういいって感じですよ」

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1493772549)

この(9) (10)の二つの用例を見ると、話し手の相手への文句、や少し厳しいコメントが強く感じると思う。それに「って感じ」をつけるだけで、ぼかし機能は自分のコメントを柔らかくさせて、相手にさほど強く感じさせないため使用されていることが分かる。

3.3.2 感情の強調

「って感じ」の感情の強調の機能は、自分の言いたいことをぼかすではなく、自分の気持ちを相手に強く感じさせるような表現である。確かに、最も強く感じるタイプの文は何もつけないで、そのまま言い切ると分かる。しかし、「って感じ」の役割を考えてみると、以下の用例はぼかすことやソフト化されるといったような機能や効果は感じない。むしろ、「って感じ」のこのような使用のし方は話し手の気持ちをはっきりさせると言える。

(11) 「日焼けして
背中ひりひりするけど
夏がきたー！って感じ！！」

(<http://ameblo.jp/eripoch/entry-11901137855.html>)

(12) 「そして最近お腹が大きくて寝苦しくなってきました...
ので抱き枕♡
買っちゃった♡
寝やすい♡快適♡苦しくない♡
って感じですw」

(<http://ameblo.jp/0000yanyan0000/entry-11901137859.html>)

(13) 「昼は流し素麺・☆からのプール・!!!☆夏休みって感じ—————♪
♪」

(<http://ameblo.jp/noamia-1199/entry-11901150735.html>)

この(11)~(13)の用例を見ると「って感じ」のぼかす以外の機能は気持ちを強く表すのが明らかになっているだろう。それにしても、文の構成に関しては、文が短くて、記号、絵文字や感嘆符がよく使われて、インパクトをより強く与えるようである。

4. 「みたいな。」と「って感じ」の共通点と相違点

4.1 「見たいな。」と「って感じ」の共通点

この二つの表現は主にぼかし表現として使われているため、ぼかし機能に関しての共通点が多くある。まず、ぼかし表現なので、断定しないように文の終わりに使われる。しかも、ぼかし機能で使われるとソフト化と言う効果がある。それは「みたいな。」「って感じ」の二つとも同じなので会話の中で交互に使われたりもする。以下の例を見るとこの特徴が明らかになる。

(14) 「知恵袋ってたまにうざい回答してくる人いますよね」自分で調べろとか、その質問意味わかんないとか、**だったら回答しなくていいじゃないかっ!!!**

って感じです笑「あなたのためになるように私は説教をしてるの」みたいな回答鬼がです笑

お前に説教されたくねーしみたいなの?

そんな風に思ったことがあるみなさん!!!

ぜひ体験談とかウザイ回答の例を書き込んでみてください!!!あつ、あと「あなたは何がしたいの?」的な回答もやめてね〜「自分で調べろよ」とか回答ありますが、「調べて分かんないから聞いてるんじゃない」って話ですよ。何のために知恵袋を利用してるんだよ、**何しに知恵袋来るのてめえら、って感じ**です。」

(http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1245498827)

また、「みたいな。」「って感じ」は、どちらも否定的な文でも、肯定的な文でも最後にそのままつけることができるため、多く使われているようである。

4.2 「みたいな。」と「って感じ」の相違点

この二つの表現の本来の意味や使い方を見ると、やはり違う点が表される。まず、前田(2004)によると「みたいな。」は本来「XみたいなY」というような、XとYと言う二者を比較する表現であると述べている。しかし、

<http://dictionary.goo.ne.jp> というオンライン辞書を見ると、「みたいな。」の意味は三つ出ている。第一はある事物のようすや内容が他の事物に似ている意を表す。第二は例示の意を表す。そして第三は不確かな、または婉曲な断定の意を表す。これは口語的表現であり、くだけた会話などでは文末に用いられることもある。このことから、「みたい」はもともとぼかしの機能があったと言えることを考えることができる。だが、変化があって、文の省略のため「みたいな。」が付けられるようになったと仮定することができるだろう。

一方、「って感じ」の「感じ」の同じ辞書で意味を見ると、「感じ」は、一般的に気持ちという意味でも用いられ、人や物がいい印象を与えるという意味にもなれば、いい気持ちがするという意味にもなる。また、「感じを出す(=雰囲気を出す)」のように、雰囲気の意味で用いられることもある、と書いてある。このことから、「感じ」のぼかし機能は全く表さず、心に感じたことを表しているの、自分の気持ちを「みたいな。」より強調させることが考えられる。

つまり、基本的な意味が違うため、ぼかし機能以外に、上記述べたように、使い方に違う点があると分かる。それは「みたいな。」の客観化と臨場感と「って感じ」の感情の強調という点である。

5. 結論

以上述べたように、分析から次のような結果が出た。「みたいな。」と「って感じ」はぼかし表現でありながら、他の使い方もあることが明らかになった。「みたいな。」の他の使い方は客観化を表すことと臨場感を表すことだと分かった。そして、「って感じ」の他の使い方は感情の強調を表すことだと分かった。

しかし、「って感じ」と「みたいな。」は置き換え可能な場合も多く、瞬間的に直感で使っているが、その使い方には何か傾向があると考えられる。また、異なる使い方もあった。例えば次の例を見ると：

(15) 「そのサポーターがバスケやってたときに着けてたザムストとほぼ同じで、懐かしい(苦笑)みたいな。」

(<http://ameblo.jp/hidemish/entry-11897260063.html>)

「って感じ」の構成は感情の強調と使い方に似ている点があるけれども、気持ちを強くさせるという機能は感じない。今後は、「みたいな。」と「って感じ」の微妙なニュアンスをさらに調べてみたいと思う。

参考文献

1. 中山治 (1989) 『「ぼかし」の心理—人見知り親和型文化と日本人—』創元社
2. 佐竹秀雄 (1997) 「若者言葉と学校文法」 『日本語学』 16 (4) 明治書院
3. 前田直子 (2004) 「文末表現「みたいな。」の機能」 『月刊言語』 33 (10) 大修館書店
4. メイナード泉子・K 「『勝手にしろ!』みたいな」 『っていうか、やっぱり日本語だよ』 大非難、注意、否定、不評、愚痴など 修館書店
5. 佐竹秀雄 (1995) 「若者言葉とレトリック」 『日本語学』 14 (11) 明治書院
6. みたいだ [助動] の意味 - 国語辞書 - goo辞書
<http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/jn2/212086/m0u/%E3%81%BF%E3%81%9F%E3%81%84/>
7. かんじ [感じ] の類義語・同義語 - 類語辞書 - goo辞書
<http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/thsrs/3491/m0u/%E6%84%9F%E3%81%98/>